



# 年間事業報告書

## 2020年

ユースワーカー協議会

<https://youthworkercouncil.jimdofree.com/>



# 目次

I. 実施事業	3
1. ユースワークに関わるスタッフの実践交流の機会づくり	3
2. ユースワーカーの養成と育成	3
3. 前号における教材開発とトレーナー養成・派遣	4
4. ユースワークの基盤許可のための調査研究及び研究	4
5. ユースワーク・ユースワーカーに関する広報および社会的発信	5
II. 実施事業一覧	6
III. 収支報告書	7
IV. その他	8

# I. 実施事業

ユースワーカー協議会規約第3条に基づき、下記の5事業を実施した。

## 1. ユースワークに関わるスタッフの実践交流の機会づくり

### ▶目的

ユースワークに関わるスタッフの実践交流によって、専門的力量的向上を図ることを目的とする。

### ▶実施内容

(1) 実践交流会を年2回実施した。

- ① ユースワーカー実践交流サロンマネージャー編（オンライン）
- ② 尼崎市ユース交流センターユースワーカー実践交流会

(2) オンラインによる実践交流会を年間4回実施した。

- ① 「オンラインユースセンター」「オンラインユースワーク」の試みと課題（2回実施）
- ② 第1回「日本のユースワークのこれからを考える」
- ③ 第2回「ボランティアを超えた、参画としてのユース×コミュニティ」
- ④ 第3回「日本のユースワークを知ろう」
- ⑤ 第4回「フランスのユースワーク実践」
- ⑥ 第5回 18歳成人時代の「成人式」を考える

### ▶成果

コロナ禍において、リアルで実践交流をすることは叶わなかったが、現状に合わせた事業の実施形態である“オンライン”を導入したことにより、2か月に1回の頻度で実施することができ、ズームの手軽さから全国からの参加を促すことができたことはとても収穫であったと考える。

### ▶特筆すべき取り組み

- ・2か月1回ズームを使用した事業の実施
- ・全国各地からの参加

## 2. ユースワーカーの養成と育成

### ▶目的

ユースワーカーの養成と育成を図ることを目的とする。

### ▶実施内容

(1) ユースワーカー養成講習会を年3回実施した。

- ① 神戸市実施
- ② 尼崎市実施
- ③ 京都市実施（下半期）

\* 事業計画にて予定をしていた、京都市（上半期）及び名古屋市での実施は、コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止とした。

(2) 相互SVを年間11件実施した。

以下のようなテーマが取り扱われた。

- ① 組織運営にかかわること（職員養成及び指導方法について、組織運営管理、中堅マネージャーなど）
- ② ユースワーク全体にかかわること（全国のYWの動向、認知向上など）
- ③ 事業づくりや若者へのかかわり（障害のある若者へのかかわり、若者のニーズにあった事業づくりなど）
- ④ キャリアに関すること（自身のキャリア形成、子育て中の悩みなど）

#### ▶成果

コロナ禍において、当初予定をしていた京都市及び名古屋市での実施は見送ったが、神戸市、尼崎市、京都市（下半期）においてユースワーカーの養成を行うことができた。

また、幹事団体5団体の職員間においてオンラインによる相互SVを実施し、合計22人の職員間において相互の交流を図るとともにユースワーカーの育成につながった。

#### ▶特筆すべき取り組み

- ・コロナ禍での実施形態の見直し
- ・プログラム内容の再検討
- ・相互SVの試行と効果

### 3. 前号における教材開発とトレーナー養成・派遣

#### ▶目的

ユースワークの実践の言語化を進めるための教材の開発と、トレーナーを養成し派遣することを目的とする。

#### ▶実施内容

(1) 講師としてオンライン研修に役員を派遣した

- ① 東京都府中市 co-study place Posse 学生スタッフ研修

(2) マネージャー研修への協力を年間1回実施した。

- ① 神戸市内の若者にかかわるスタッフ対象として実施

#### ▶成果

コロナ禍において、当初予定をしていた京都市での実施は見送ったが、神戸市においてマネージャー研修を実施した。

また、教材の開発については、「ハンドブック」の作成について協議を重ね、次年度着手することを合意した。

#### ▶特筆すべき取り組み

- ・コロナ禍での実施形態の見直し

## 4. ユースワークの基盤強化のための調査及び研究

### ▶目的

調査及び研究により、日本におけるユースワークの基盤強化を図ることを目的とする。

### ▶実施内容

(1) teens (関東のユースワークにかかわるスタッフコミュニティ) とのワークショップを年1回実施した。

① ユースワーカー定義検討ワークショップ

### ▶成果

他団体との共催事業に取り組み、ユースワークについて各地の実践者と意見を交換することができたことはとても収穫であったと考える。

### ▶特筆すべき取り組み

・コロナ禍での実施形態の見直し

## 5. ユースワーク・ユースワーカーに関する広報および社会的発信

### ▶目的

広報および社会的発信により、ユースワークの社会的認知を拡大していくことを目的とする。

### ▶実施内容

1 広報および社会的発信のためのイベントを年2回実施した。

(1) 1周年設立記念イベント オンラインフォーラム「今、ユースワークの必要性とは何か」

(2) ウェブサイトの稼働

### ▶成果

オンラインにより2回実施し、ユースワーカー協議会についての広報および社会的発信をすることができたことはとても収穫であったと考える。

### ▶特筆すべき取り組み

・コロナ禍での実施形態の見直し

## II. 事業実施一覧

実施日	事業名
令和2年 4月30日	「オンラインユースセンター」「オンラインユースワーク」の試みと課題（その1）
令和2年 5月 4日	「オンラインユースセンター」「オンラインユースワーク」の試みと課題（その2）
令和2年 5月12日	ユースワーカー実践交流サロンマネージャー編
令和2年 7月 4日	ユースワーカー協議会オンラインフォーラム（設立記念）
令和2年 7月28日	「日本のユースワークのこれからを考える」
令和2年 9月25日	「ボランティアを超えた、参画としてのユース×コミュニティ」
令和2年11月19日	「日本のユースワークを知ろう」
令和2年12月14日	「ユースワークとは何か？」（定義検討ワークショップ）
令和2年12月22日	「フランスのユースワーク実践」
令和3年 1月26日	18歳成人時代の「成人式」を考える
令和3年 2月12日	尼崎市ユース交流センター ユースワーカー実践交流会



ユースワーカー養成講習会 in 尼崎

## Ⅲ. 収支報告書

別紙参照



## IV. その他

会員数 = 23名

### ユースワーカー協議会役員会実施状況

令和2年 4月21日	「7月のオープニングイベント、 2019事業報告について」など
令和2年 7月 4日	「当面の協議会の活動方針について」など
令和2年 9月 8日	「ユースワーカー養成講習会予定、加入承認」など
令和2年12月14日	「ユースワーカー養成講習会の実施、会費について、 規約の改正」など
令和3年 3月17日	「会員の会費、次年度事業について」など